

群馬パース大学 看護実践教育センター
認定看護師教育課程（摂食嚥下障害看護）
2024 年度受講者選抜試験

【 専 門 科 目 】

※ 注 意 事 項

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 受験番号を必ず問題用紙表紙上部の欄に記入すること。
3. マークシートには「氏名」を記入し、「番号」に受験番号を記入・マークすること。正しく記入・マークされていない場合は採点できないことがあるので注意すること。氏名・番号・解答記入欄以外の欄には記入しないこと。
4. 解答は、マークシートの解答記入欄にマークすること。解答方法は、選択肢のうち質問に最も適した選択肢を1つ解答記入欄にマークすること。

例えば、

1

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号1の解答記入欄③にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 記 入 欄									
1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

5. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及びマークシートの汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題用紙の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了後、問題用紙・マークシートは回収する。

以上

過去問題（2024 年度）

問 1 死因別に見た死亡率の年次推移：「令和 2 年（2020）人口動態統計月報年計（概数）」（厚生労働省）で第 10 位までにないのはどれか。 1

- ① 老衰
- ② 自殺
- ③ 肺炎
- ④ 不慮の事故

問 2 地域包括ケアシステムの説明で正しいのはどれか。 2

- ① 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される。
- ② 市町村は、5 年ごとに介護保険事業計画を策定する。
- ③ 近隣の地域包括支援センターの代表者による地域ケア会議が開催される。
- ④ 概ね 45 分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域が単位として想定される。

問 3 摂食機能療法の説明で正しいのはどれか。 3

- ① 全算定対象者に、内視鏡下嚥下機能検査又は嚥下造影が行われる必要がある。
- ② 医師又は歯科医師の指示の下に言語聴覚士，看護師，理学療法士又は作業療法士が行う嚥下訓練が算定できる。
- ③ 所定の要件を満たし連続 30 分以上の援助を行った場合，175 点が算定できる。
- ④ 摂食嚥下機能回復体制加算 1 は，週 1 回 210 点が算定できる。

問 4 看護理論に基づいたアセスメントの枠組みで誤っているのはどれか。 4

- ① ヴァージニア・ヘンダーソン — 14 の基本的ニード
- ② シスター・カリスタ・ロイ — 適応モデル
- ③ マージョリー・ゴードン — 機能的健康パターン
- ④ ドロセア・オレム — 発達課題

問 5 NANDA-I 看護診断で問題焦点型看護診断の構成要素にないのはどれか。 5

- ① 看護問題
- ② ハイリスク群
- ③ 診断指標
- ④ 関連因子

問 6 看護過程のアセスメントの書き方で誤っているのはどれか。

6

- ① 最初に「解釈」で患者の反応などを書く。
- ② 「分析」では患者の客観的情報を経時的に並べる。
- ③ 「なりゆき」では患者の状況を推論した結果を書く。
- ④ 最後に「方向性」として対象にあった方法を選ぶ。

問 7 高齢者の特徴で誤っているのはどれか。

7

- ① 体内水分量が変化する。
- ② 糸球体濾過量が上昇する。
- ③ 不感蒸泄が減少する。
- ④ 血漿浸透圧が高くても口渇を感じにくい。

問 8 脱水の種類で誤っているのはどれか。

8

- ① 水分喪失性脱水
- ② 等張性脱水
- ③ 低張性脱水
- ④ 高張性脱水

問 9 サルコペニアの判定基準に含まれないのはどれか。

9

- ① 指輪っかテスト
- ② 握力検査
- ③ 10 回椅子立ち上がりテスト
- ④ 6m 歩行速度

問 10 胃瘻による経管栄養法の説明で正しいのはどれか。

10

- ① 胃内圧上昇防止のために、栄養剤の注入圧の上限は 300mmHg とする。
- ② 胃食道逆流の予防に向けた半固形状流動食の粘度は、100mPa・s 以上が望ましい。
- ③ バンパー埋没症候群では、胃瘻カテーテルの外部ストッパーが腹壁に埋もれる。
- ④ ボールバルブ症候群の原因となる胃瘻カテーテルは、バンパー型チューブタイプである。

問 11 嚥下機能に影響が少ない治療薬はどれか。

11

- ① 第一世代抗精神病薬
- ② 選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）
- ③ ベンゾジアゼピン系抗不安薬
- ④ 抗コリン薬

問 12 顎関節を下顎骨と構成する骨はどれか。

12

- ① 上顎骨
- ② 頬骨
- ③ 側頭骨
- ④ 口蓋骨

問 13 咀嚼筋はどれか。

13

- ① 口角挙筋
- ② 大頬骨筋
- ③ 外側翼突筋
- ④ オトガイ筋

問 14 顔面の痛みを伝える脳神経はどれか。

14

- ① 三叉神経
- ② 顔面神経
- ③ 舌咽神経
- ④ 迷走神経

問 15 大唾液腺の分泌に関わる脳神経はどれか。

15

- ① 滑車神経
- ② 三叉神経
- ③ 顔面神経
- ④ 迷走神経

問 16 舌の運動を支配する脳神経はどれか。

16

- ① 三叉神経
- ② 舌咽神経
- ③ 迷走神経
- ④ 舌下神経

問 17 味覚を伝える脳神経はどれか。

17

- ① 三叉神経
- ② 顔面神経
- ③ 迷走神経
- ④ 舌下神経

問 18 食道の粘膜上皮はどれか。

18

- ① 重層扁平上皮
- ② 単層扁平上皮
- ③ 単層円柱上皮
- ④ 多列円柱上皮

問 19 最初の乳歯は通常どこから生えるか。

19

- ① 上顎前歯
- ② 下顎前歯
- ③ 上顎臼歯
- ④ 下顎臼歯

問 20 唾液に含まれるのはどれか。

20

- ① ガストリン
- ② トリプシン
- ③ アミラーゼ
- ④ ペプシン

問 21 軟口蓋が閉鎖するのはどれか。

21

- ① 咽頭と喉頭
- ② 口腔と咽頭
- ③ 口腔と鼻腔
- ④ 食道と気道

問 22 脳の部位と機能の組み合わせで誤っているのはどれか。

22

- ① 中心前回 — 随意運動の指令
- ② 脳梁 — 右脳と左脳の連絡
- ③ 視床下部 — 自律神経の調節
- ④ 黒質 — サブスタンス P の分泌

問 23 脳神経の説明で正しいのはどれか。

23

- ① 脳神経は中枢神経に分類される。
- ② 皮質脊髄路は大腦皮質から脳神経核に至る神経である。
- ③ 第Ⅴ～第Ⅷ脳神経は橋から発生する。
- ④ 上顎神経は三叉神経の運動神経線維を含む。

問 24 嚥下反射の改善が期待できる薬剤はどれか。

24

- ① プロトンポンプ阻害薬
- ② ACE 阻害薬
- ③ SGLT2 阻害薬
- ④ オレキシン受容体拮抗薬

問 25 加齢による摂食嚥下機能への影響で正しいのはどれか。

25

- ① 嚥下時に食道入口部が弛緩しやすくなる。
- ② 咽頭クリアランスの低下は主として嚥下中誤嚥を誘発する。
- ③ 安静時喉頭位置の下垂が食道入口部閉鎖に影響する。
- ④ 嚥下後の呼吸は吸気から再開する頻度が増加する。

問 26 レビー小体型認知症の特徴で誤っているのはどれか。

26

- ① 後頭葉の病変を生じやすい。
- ② 認知機能が変動する。
- ③ レム睡眠行動障害が出現する。
- ④ 薬剤に対する鈍感性がある。

問 27 注意障害と特徴的な症状の組み合わせで誤っているのはどれか。

27

- ① 持続性注意障害 — すぐに気が散る。
- ② 選択性注意障害 — 重要な情報を見落とす。
- ③ 切替性注意障害 — 別の作業に注意を切り替えられない。
- ④ 分配性注意障害 — 複数の作業を同時に行えない。

問 28 摂食嚥下障害を起こしやすい小児の疾患で誤っているのはどれか。

28

- ① 脳性麻痺
- ② ダウン症候群
- ③ 手足口病
- ④ ピエール・ロバン症候群

問 29 小児の摂食機能の発達段階と特徴の組み合わせで正しいのはどれか。

29

- ① 経口摂取準備期 — 口角の水平の動き（左右対称）
- ② 捕食機能獲得期 — 下唇の内転，舌突出の固定
- ③ 嚥下機能獲得期 — 顎・口唇の随意的閉鎖，上唇での取り込み
- ④ すりつぶし機能獲得期 — 口角の引き（左右非対称）頬と口唇の協調運動

問 30 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の説明で正しいのはどれか。

30

- ① 発症年齢は 30 歳～40 歳が最も多い。
- ② 上位運動ニューロンは障害されない。
- ③ ALS に伴う認知症は前頭側頭型認知症が多い。
- ④ 遺伝性はない。

問 31 球麻痺の説明で正しいのはどれか。

31

- ① 橋の脳神経核の障害による口・舌・喉の運動障害である。
- ② 咽頭後壁が患側に引かれるカーテン徴候を生じる。
- ③ 延髄では病変部位と同側の顔面の温痛覚障害を生じる。
- ④ 食道入口部閉鎖不全が特徴である。

問 32 摂食嚥下障害をもつ頭頸部癌患者の摂食嚥下リハビリテーションで正しいのはどれか。

32

- ① 気管カニューレはカフありにして誤嚥を予防する。
- ② 誤嚥のリスクのある患者は禁食にする。
- ③ 術後の摂食訓練は 7～14 日から開始する。
- ④ 速やかに吸気－嚥下－吸気の呼吸パターンを確立する。

問 33 嚥下反射や咳反射に効果的にはたらくもので誤っているのはどれか。

33

- ① カプサイシン
- ② 半夏厚朴湯
- ③ ブラックペッパー
- ④ 甘酒

問 34 摂食嚥下の 5 期モデルの説明で誤っているのはどれか。

34

- ① 先行期には三叉神経中脳路核が関与する。
- ② 口腔期には鼻咽腔閉鎖が関与する。
- ③ 咽頭期には上喉頭神経が関与する。
- ④ 食道期には輪状咽頭筋が関与する。

問 35 スクリーニングテストと評価に用いるものの組み合わせで正しいのはどれか。

35

- ① 改訂水飲みテスト — 3ml の常温水
- ② 水飲みテスト — 30ml の冷水
- ③ Peak Cough Flow — ピークフローメータ
- ④ 咳テスト — 2%クエン酸生理食塩液

問 36 フードテスト (FT) の説明で正しいのはどれか。

36

- ① 茶さじ一杯 (5g) のプリンを用いるのが基本となる。
- ② 口腔内における食塊形成能力, 咽頭への送り込みを評価する。
- ③ プリンを舌尖部に置き, 嚥下を命じる。
- ④ 評価基準の 3 点は「嚥下あり, 呼吸切迫」となる。

問 37 日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2021 の表示で誤っているのはどれか。

37

- ① 学会分類 2021 (食事) では「必要な咀嚼力」が削除された。
- ② 食事の分類は嚥下訓練食品と嚥下調整食に分かれる。
- ③ とろみの分類は薄いとろみ, 中間のとろみ, 濃いとろみの 3 段階である。
- ④ 学会分類 2021 (とろみ) にシリンジ残存量テストの測定を示した。

問 38 口腔ケアで誤っているのはどれか。

38

- ① 含嗽法にはガラガラ含嗽とブクブク含嗽がある。
- ② 含嗽実施時は座位やファーラー位などで前屈姿勢をとる。
- ③ 朝食前よりも昼食後の歯磨きが重要である。
- ④ 自歯が 1 本でもあればブラッシングをする。

問 39 間接訓練と具体的方法の組み合わせで誤っているのはどれか。

39

- ① ブローイング訓練 — コップに水を入れストローで吹く (口腔気流)。
- ② プッシングエクササイズ — 壁や机を押す等のプッシング動作とともに発声する。
- ③ 開口訓練 — 開口を命じ舌骨上筋群の強い収縮を意識し保持する。
- ④ 前舌保持嚥下訓練 — 舌圧子を用いて舌に負荷をかける。

問 40 摂食訓練で誤っているのはどれか。

40

- ① 顎突出嚥下法
- ② 強い息こらえ嚥下法
- ③ 過敏除去 (脱感作)
- ④ メンデルソン手技